

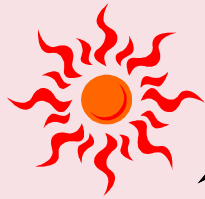
暑熱ストレス環境下における肉用鶏への 効果的粃米飼料給与方法の確立

目的と特徴

- ・暑熱環境下において肉用鶏への粃米飼料給与の有効性を評価
- ・暑熱環境下における粃米飼料給与の影響を明らかにし、最適ストレス制御方法を確立

夏季などの

暑熱環境



- ・飼料摂取量・増体量の減少
- ・出荷日齢の延長
- ・熱死の発生

深刻な問題

暑熱環境下における粃米飼料給与のポイント

その1 全量粃米代替飼料では油脂含量を制限

たとえば、粃米飼料の油脂含量を
5~6 % (ME: 2.8 kcal/g) 程度に制限

その2 粃米含有飼料の酸化を防ぐ

通常環境下でも粃米含有飼料は酸化しやすいため、
配合後、**長期間の保存は避ける**

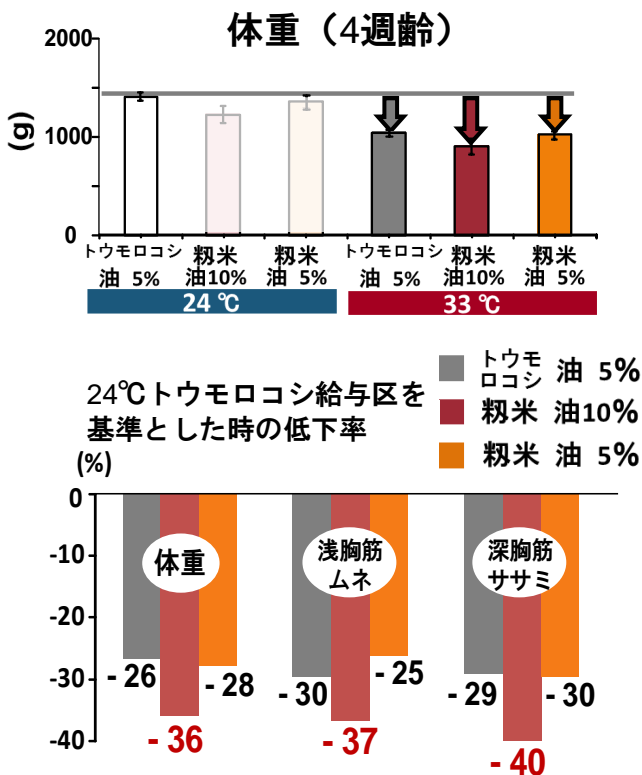


トウモロコシ飼料とほぼ同等な生産性

成果

- ・鶏にストレスがかかる暑熱環境下においては、飼料中のトウモロコシを粃米に全量代替する場合、添加する油脂含量を5~6%に制限することで、生産性の低下を防止できます。
- ・粃米含有飼料は酸化安定性が低いため、管理に留意する必要があります。

ポイント その1



夏季などの暑熱時期においては、
粳米飼料の油脂含量を5~6%程度に
制限すれば、
トウモロコシ飼料と同等の生産性が維持できます。
さらに、鶏肉の脂質過酸化も亢進しません。

図1 慢性暑熱感作(33°C, 6 d)時における体重、24°C対照区を基準とした時の筋肉重量の低下率(上) およびムネ肉の過酸化脂質含量(右上)

ポイント その2

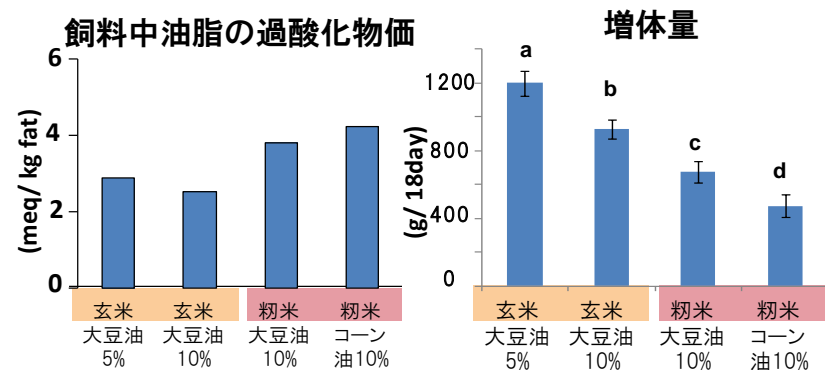


図2 飼料中油脂過酸化物質価 (冷蔵保存半年: 左) および通常飼養環境下(24°C)における玄米、粳米含有飼料給与による増体量(右)

粳米主体飼料(油10%)は、
玄米主体飼料(油10%)と比べ、
飼料の酸化度が高くなります。
粳米飼料(酸化度が高い)の給与は、
通常環境下においても、
成長の低下をもたらします。

対象作物、普及対象

- ・肉用鶏、全国

対象農家

- ・飼料用米飼料を導入したい養鶏農家、自給飼料に興味がある養鶏農家

必要な道具

- ・飼料用攪拌機

関連HP (成果情報)

飼料用米の生産・給与技術マニュアル<2013年度版>

6 鶏への飼料用米給与 (3) 肉用鶏への飼料用米給与(独)農業・食品産業技術総合研究機構

http://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/publication/files/ricm2013.pdf

その他